

各種課題の解決に向け要求書を提出 中央・人事院へとバトンを繋ぐ

～林野労組九州地本 要求書提出～

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 4月3日 執行委員会
- 4月10日 安全祈願
- 4月17日 執行委員会
- 4月26日 第2回役員推薦委員会
- 5月9日 地本団体交渉

要求書提出

～森林・技術センター分会～



要求書を手交する柿本分会委員長

匠の腕

「春の日向灘を望む」

(撮影者 山口隆志：宮崎北部分会)



「匠の一言」
サーファーの聖地 お倉ヶ浜にて。海岸際に見える松林は国有林です。サーフィンに興味がある方はぜひ来てみてはいかがでしょうか。

林野労組九州地本は、2024年春季生活闘争の取り組みとして、3月12日に九州局当局に対して要求書を提出しました。

要求書の提出は、中央段階での取り組みと連動させるために、地本・各分会から積み上げて中央交渉へとつなげる取組を行っています。



各種課題の解消に向け加藤委員長より要求書を手交

2023春闘以降も、物価の上昇に実質賃金が追いつかない状況となっており、家計は一段と厳しさが増している。生活の苦しさや、将来に対する不安、これらの生活実態を踏まえて、賃金等総合的労働条件の改善に向けて要求しました。

内容として

3月12日「2024新賃金等に関する要求書」を加藤執行委員長から島田総務企画部長に提出しました。

2024新賃金等に関する要求書として、現在の状況は、実質経済成長率のマイナス成長や、30年ぶりの賃上げ水準となった

は、「生活実態を踏まえた賃上げ」「人事院規則に基づいた昇格基準の見直し」「一時金及び諸手当の引き上げ」「通勤手当における新幹線等利用の加算額のおける山上等作業手当の適用業務拡大」「住居手当について要

件を具備した当該月からの支給」「日額旅費の規定廃止等が予定されているが、国有林野事業の職場実態を踏まえた現場業務等の手当の創設」「非常勤職員の待遇改善・給与の適用号俸の引き上げ」「期間業務職員制度について、通年・週5フルタイム雇用の制度化」「非常勤職員の休暇制度について、常勤職員と待遇が異なる制度の改善」「定年の段階的引き上げによる60歳超職員増加を踏まえ、継続的な新規採用者確保、あわせて55歳定年ストップの見直し等、制度の改善」「定年前再任用後の暫定再任用を実現、また、再任用職員が現在支給されていない手当の支給」「労働時間短縮の施策」「特別休暇の拡大」「育児休業制度の内容の充実と、取得しやすい環境の整備」「介護休暇の有給化や期間の拡大等、内容の充実」「子の看護休暇における対象年齢及び休暇日数の拡大」「テレワーク環境の整備」「人事異動の時期の平準化や発

今日の分散等」「将来要員規模に基づく定員の確保」「障がい者雇用における職場環境の整備等」「男女平等の推進」「ハラスメント対策」等としています。

林野労組単独で改善出来ない課題はあるものの、要求は確実に林野庁、人事院へと上申することを強く求めました。以前から当局側の見解として、当局として改善出来ないものは上部に申達し、それ以外のものは改善していきたいとの前向きな姿勢を示しており、今後も要求を続けていく事が重要であり、早期の課題解決に向けて、今後も引き続き取り組みを強化し、継続して要求していきます。

国交連合九州と連携 全体での課題改善へ

～国交連合九州・林野労組 人事院交渉～



松本執行委員が要求書を手交

2024年春季生活闘争における取組を進める中で、3月8日、松本執行委員が出席しました。

林野労組九州地本は国交連合九州と連携し、人事院九州事務局交渉を実施しました。

国交連

冒頭、国交連合九州の葉師寺議長(国税労組)より、「本年の民間春闘では、高水準の要求に対して満額回答される事例が多くある。そのような中、国民生活の基盤を担う我々公務の現場では、適切な賃金とは言えない状態が続いている。組合員が公務の職場に就いてよかつたと感じるために、本日は要求したい」と述べました。

その後、①賃金要求、②社会と公務の変化に応じた給与制度の整備、③非常勤職員の労働条件改善、④労働時間の短縮、⑤障がい者雇用、⑥女性参画の推進、⑦定年の段階的引上げに伴

「技セン分会・柿本通信員」
3月15日、分会は所長室において、「2024新賃金等に関する要求書」を当局に提出しま

当分会では、こうした生活実態を踏まえ、賃金など総合的労働条件の改善に向け、①賃金の引き上げ、②非常勤職員の雇用

確保と処遇の改善、③定年の段階的引き上げに伴う各種施策、④労働時間短縮等労働諸条件の改善、⑤障がい者雇用、⑥男女平等の実現、⑦ハラスメント対策等について、要求しました。

当局からは、「要求書について上部進達するとともにセンターとして改善できることは改善を行いたい」と回答がありました。

冒頭、国交連合九州の葉師寺議長(国税労組)より、「本年の民間春闘では、高水準の要求に対して満額回答される事例が多くある。そのような中、国民生活の基盤を担う我々公務の現場では、適切な賃金とは言えない状態が続いている。組合員が公務の職場に就いてよかつたと感じるために、本日は要求したい」と述べました。

その後、①賃金要求、②社会と公務の変化に応じた給与制度の整備、③非常勤職員の労働条件改善、④労働時間の短縮、⑤障がい者雇用、⑥女性参画の推進、⑦定年の段階的引上げに伴

「年輪」
暖かい日差しで春を実感する。冬場は地面も凍り、今後は昆虫類も雪解けて徐々に出てくる。そこで今回は虫の話をする。(生態系等の業務は携わった事はないが)▼アリは地中に巣を作り、お菓子等を少しでも落とすと寄ってくる。全員で協力して巣に運ぶが、重い物を運ぶ力は驚愕だ。「働きアリ」や「兵隊アリ」と言われるアリもいて、そのアリは自らの意思とは関係なくその名称で働かされているのではないかと少し心配になるが、▼名称の経緯は不明だが、実は働きアリは10匹のうち3匹は休憩しているそうだ。これはサボりではなく、交代要員との事。あれだけの肉体力労働を交代なしでは長生きも出来ないだろう。人員が減少し、交代要員がない現状では、その人頼みで体が故障するまで働くのか。そんなのアリ?
(SUKIE)

積み上げた課題を中央へ！ 全体での解決に向け取組

～中央学習交流集会～



全国から結集！

「青女委」山形通信員

令和6年3月2日から4日までの三日間にかけて林野会館（東京都）にて「2024林野労組青年女性春闘生活闘争学習交流集会」が開催されました。

全国の各地本から28名が集まり、九州地本からは、青年女性委員長長の山形（大分分会）と傍聴として片野常任委員（長崎分会）が参加しました。

冒頭、山名中央青女委員長より「各地本において様々な工夫をしながら運動を展開していた



要求書 屋久島

要求書提出

（屋久島分会）

「屋久島分会・木崎通信員」
屋久島森林管理署分会（高本執行委員長）は13日、2024新賃金に関する要求書を屋久島森林管理署長へ手渡すとともに、組合員の生活

実態を踏まえ、すべての職員の賃金を積極的に引き上げることに、非常勤職員の雇用確保、労働時間短縮等、労働諸条件の改善、ハラスメント対策の体制整備を図ること等、林野庁当局として責任を持った対策を講じることを訴えました。昨年、10月に実施した組合員の生活実態調査では多くの組合員が生活の苦しさや将来に対する不安、労働条件の改善を訴えており、極めて厳しい状況となっています。今後、機会ある毎に組合員の労働条件の改善等を当局へ訴えていくことを執行部でも確認しました。

二日目は、まず問題提起で、各地本段階における問題等について代表者が発言を行いました。その後、「職場環境の改善」、「要員要求」、「庁舎・宿舍の改善」、「賃金・諸手当・諸権利」の4つの班に分かれ分會会を実施しました。同じような実態もあれば、地域特有の問題もあり、さまざまな意見を共有し、他地本の人々と交流を深めることができました。

三日目は、分會会出された意見をまとめ、林野庁交渉を行いました。中央段階まで上げられている意見は、局・署で上部へ進捗すると回答があったものが多く、林野庁交渉においても「実態については把握している。林野庁段階で解決できるもので



地本段階での問題を山形委員長が共有

「局分会・藤川通信員」
2024年3月3日、山鹿市「歴史公園鞠智城」において、「2024春季生活闘争勝利」連合熊本第31回産別・地協対抗駅伝大会に熊本地域森林労連として、局分会・熊本分会から10名参加しました。



全員で力を合わせて！

トから局5階まで駆けて鍛えたスプリント力が魅力の岡（局）2区は、10年ぶりに箱根路へ帰ってきた東京農大を卒業した塩崎（熊本）。各チームのエースが揃う最長区間3区は、局内で熊本城マラソン2位の成績を収めた北川（局）。4区は、箱根駅伝常連の古豪・明治大学出身の部原（局）。5区は、今年の熊本城マラソン無念の欠場で雪辱に燃える横田（熊本）。6区は、マラソンのタイムが出場する度に遅くなっている藤川（局）。7区は、趣味がランニングという最年少の村岡（熊本）。最終区のアンカー8区を務めたのは、熊本分会執行委員長で安定感が半端ない下大迫（熊本）。入賞を目指して臨んだ今大会



力走を見せる岡さん(局分会)

「九州地本 新規採用者組織化対策」
九州地本では、4月を組織対策強化月間とし、1日を統一行動日として新採組織化対策を実施しました。九州地本では毎年新規採用者が配属される日（2024年度は4月1日）に集中的に取り組む事を意思統一



未来を担う世代の加入に向け取り組み

し、今年度も該当する全分会で取組を行いました。

4月5日までの1週間で17名の新採者等の組織化が図られ、一定の成果が得られました。しかし、「まだ検討したい」と



アンカーで奮闘する下大迫さん(熊本分会)

組合の重要性を丁寧に周知していきながら、粘り強く対応していく事としています。現在の情勢として、賃金が物価上昇に追いついておらず、苦しい家計状況であったり、親族の介護等で、加入に対して検討したいといった声を聞くことがあります。しかし、このような厳しい状況であるからこそ、組織全体の力を高めるため、組織化対策は最重要課題であり、安

記事を募集しています!!

分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。

E-mail sirin14kaku@siren.ocn.ne.jp

(教宣担当)

心安全で安定した勤務条件を維持向上していくことが重要で、今後も引き続き、新規採用者以外の未加入者も加入に向けた取組を継続し、全員が「仲間」として、今後もより良い職場を作り、若い組合員が将来を担う人材となるよう、地本・分会が一体となって取り組んでいきたいと思



あの人とあの人

「期待のルーキー」

中村 柁さん(北薩分会)



今回は、北薩分会から「中村 柁(しゅう)さん」を紹介いたします。中村さんは長崎県立諫早農業高校を卒業後、令和5年4月に北薩森林管理署に採用されました。

業務は総務グループの経理を担当しており、上司の指導の下、日々一生懸命業務に取り組んでいます。最近ではメキメキと実力をつけ、熟練の事業者の方とも対等に話ができるようになってきました。

笑顔でみんなを和ませる

趣味はランニングのよううで、休日は自分で考えた近所の特々も過酷なコースを走っており、苦しむことが快感な中村さんは充実した生活を送っています。最後に、持ち前の明るさと行動力で北薩分会のムードメーカーとしての活躍を期待しています。(北薩分会・東通信員)